

はじめに

このハザードマップは、これまでに経験したことのないような大雨により、河川が氾濫した場合に想定される浸水の範囲や深さ、洪水時の避難所などを示したものです。

別府市は、鶴見岳・伽藍岳から別府湾に向かって緩やかに傾斜しており、ひとたび大雨が降ると急激に河川が増水し、洪水が発生するおそれがあります。また、氾濫した水は広範囲に渡って広がるため、河川から離れている地域でも浸水するおそれがあります。

防災対策の第一歩は、自分たちの地域でどのような災害が想定されているか知ることから始まります。このハザードマップを活用して地域や家族で「避難方法」や「危険な場所」などについて話し合い、予測の困難な自然災害に備えましょう。



本マップの使い方

1 家の位置を確認し、周りの危険性を把握しよう

あなたの家の位置をマップに書き込んで、災害リスク（浸水想定区域・土砂災害警戒区域）を確認しましょう。家の周りに河川や用水路などの危険な場所がないか把握しておきましょう。



2 避難行動を確認し、避難先を選ぼう

とるべき避難行動をP.5-P.6で確認しましょう。最寄りの避難先を複数選びましょう。



3 実際に避難先まで歩いてみよう

選択したそれぞれの避難先までの経路を地図で確認しましょう。また、避難経路が安全かどうか、避難にどのくらい時間がかかるかについても確認しましょう。



4 災害や避難について、話し合ってみよう

あなたの家だけでなく、家族の職場や学校、よく行く場所などについても避難先や危険性を確認しましょう。



マイ・タイムラインを作ってみよう

マイ・タイムラインは、大雨や台風が接近しているときに自分や家族が「いつ」「何をするのか」をあらかじめ決めておく計画表のことです。いつ災害が起こっても落ち着いて行動できるように個人や家庭の実情に合ったそれぞれのマイ・タイムラインを作成しておきましょう。



詳細はP.21-P.22へ！

もくじ

はじめに	P.1 - 2
洪水 前線 / 台風、ゲリラ豪雨に注意しよう！	P.3 - 4
とるべき避難行動を確認しよう！	P.5 - 6
ハザードマップ 地図 1～5	P.7 - 16
避難所一覧	P.17 - 18
役立つ情報	P.19 - 20
マイ・タイムライン	P.21 - 22

地図一覧

1 朝見川 / 乙原川 / 鮎返川 / 河内川	P.7 - 8
2 境川 / 板地川	P.9 - 10
3 春木川	P.11 - 12
4 新川	P.13 - 14
5 津房川 / 境川・春木川（上流）	P.15 - 16

地図を見る上での注意事項

洪水浸水想定区域は、一定の条件に基づき予測したものです。高潮および内水による氾濫等は考慮していません。災害の状況によっては、表示される範囲以外の場所でも、浸水や土砂災害が発生するおそれがあります。正確な情報を入手して、早めの避難を心がけてください。

■洪水浸水想定区域（想定最大規模：概ね1000年に1回程度の大雨を想定）
大分県作成、令和6年6月4日指定

朝見川 6時間の総雨量 624mm	境川 6時間の総雨量 632mm
乙原川 6時間の総雨量 643mm	板地川 6時間の総雨量 647mm
鮎返川 6時間の総雨量 645mm	春木川 6時間の総雨量 632mm
河内川 6時間の総雨量 644mm	新川 6時間の総雨量 638mm
津房川 ピーク時の1時間に86mm	

■土砂災害警戒区域・特別警戒区域
大分県作成、令和5年12月1日告示分まで（別府市域のみ表示）

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 6JHs 193
背景図は基盤地図情報を拡大して使用しているため、位置精度は基図に準じます。

